

### 第3回運営推進会議記録

事業者名および住所	合同会社 たけのこカンパニー 逗子市逗子3-3-23
事業所名および住所	リハビリセンター彩 逗子市逗子3-3-23
開催日	令和元年5月24日（金） 15:00～15:30
開催場所	リハビリセンター彩
出席者	事業者 竹内 美穂 家族代表 1名 逗子市中部地域包括支援センター 赤松 伸子様 (逗子市高齢介護課 稲垣 賢也様：都合により欠席) (民生委員 吉岡 圭子様：都合により欠席)
議題・課題	(1) 利用者状況について (2) 職員の状況 (3) 報酬加算状況 (4) 事故報告書 (5) 活動報告 ①個別機能訓練について ②地域交流について ③作業療法士実習生受け入れ ④自費サービスについて (6) 質疑応答、要望、意見交換
活動報告	①個別機能訓練について ・ハンドセラピー 46名 ・嚥下訓練（DVD使用） 1名 ・歩行補助具相談 9名 ・外出訓練（杖歩行指導） 3名 ・麻痺側手指訓練 5名 ・IT機器訓練 1名  ②地域交流について ・下桜山サロンへの開催場所提供（H31/4/30まで） ・逗子大師商店会 イベントのポスターを掲示  ③作業療法士実習生受け入れ ・令和元年度 東京工科大学 3名予定 ・令和元年度 神奈川県立保健福祉大学 3名予定  ④自費サービスについて ターミナルケア アロマテラピーを取り入れたメンタルケア実施

<p>質疑応答・要望・意見交換</p>	<p>(家族代表より 要望)</p> <p>起床時、本人がベッドから起き上がる時痛みを訴える。  レッドコードを使用時の腰痛緩和ケアが本人の体調に合うのであれば、訓練メニューに追加してもらいたい。  →本人の体調に合うメニューかどうか作業療法士と相談し、導入について検討していくこととする。</p> <p>(逗子市中部地域包括支援センター 赤松氏より 質問)</p> <p>利用者はパーキンソン病や脳梗塞などの後遺症がある方が多いのか。  →確かにパーキンソン病や脳梗塞後遺症を主疾患とした方のリハビリの相談は多い。近隣のDC、DSで手指含め上肢の訓練を専門的にするところが少ないからと考える。他のリハビリ機関で下肢の訓練を重点的に行い、上肢の訓練を彩で重点的にするという内容で併用されている方もいる。  要支援のクラスでは、変形性の関節症や脊柱管狭窄症など整形外科的疾患を持っている方の相談が多い。  認知症が主疾患の方はリハビリの効果が出にくいこと、安全にサービス提供が出来ないこと、日常生活に支障が出ている(食事や入浴ができないなど)ことから、生活支援型デイサービス利用の併用や移行について相談することが多い。</p> <p>自費サービスは介護保険で彩を利用したことがある方が対象か。  →現在、介護保険サービスの人員をそろえることで手一杯の状態であるため、自費サービスの提供自体が困難な状況である。  人員が充足し、自費サービス対応が可能になれば、自費サービスのみの方の利用も受け入れていきたいと考えている。</p> <p>(家族代表より 意見)</p> <p>デイサービスから「楽しかった。」と笑顔で帰ってくる姿を見ると家族としても嬉しいし安心する。  人に教える仕事をしていたので、自分より具合が悪そうな方がいると気にかけている様子がある。昔のキャリアを活かせるということは、本人にとって良い経験になっていると思う。  今後も通い続けてもらいたい。</p>
<p>その他必要な事項</p>	<p>次回開催予定 2019年11月頃</p>